

2010 年度（平成 22 年度）  
早稲田大学大学院経済学研究科  
入学試験要項

**博士後期課程一般入学試験**

（第 1 期募集：2010 年 2 月実施 [4 月入学者用]）

（第 2 期募集：2010 年 5 月実施 [9 月入学者用]）

## < 目次 >

1. 日 程 (P4)
2. 募集人員 (P5)
3. 出願資格 (P5)
4. 出願手続 (P6)
5. 出願書類 (P10)
6. 試 験 (P12)
7. 研究領域制と研究指導教員選択 (P15)  
    研究指導教員の選択について (P15)  
    修了要件 (P15)
8. 学 費 等 (P16)

## < 出願書類一式について >

以下の書類は、当研究科ホームページ (<http://www.waseda.jp/seikei/gse/examinee/03.html>) よりダウンロードして入手してください。

外国人学生<sup>\*1</sup>・外国学生<sup>\*1</sup> (国内出願者<sup>\*2</sup>および国外出願者<sup>\*2</sup>)のうち、英語による研究指導を希望する者は、必ず以下の出願書類全てを英語版で作成してください。

入学志願票

研究計画書

経歴書

修士論文 (入試論文)

出願書類送付用宛名ラベル

\* 1 : 外国人学生・外国学生について

当研究科における外国人学生とは「日本国内にある大学の学部・大学院を卒業・修了した (卒業・修了予定含む) 外国人」のことを表しています。

一方、外国学生とは「日本以外の外国にある大学の学部・大学院を卒業・修了した (卒業・修了予定含む) 外国人」のことを表しています。

**\* 2 : 国内出願者と国外出願者の違いについて**

国内出願者（日本国内居住者の場合）

入学手続完了時まで有効な在留資格（ビザ）を持って日本国内に居住する者が日本国内から当学に出願する方法です。

国内出願の場合は、出願時に「外国人登録証明書」を提出しなければなりません。なお、国内出願の場合は、早稲田大学による在留資格（ビザ）の代理申請は行ないませんので、必ず入学時期までに在留期限があるかどうかを確認の上、出願してください。

国外出願者（日本国外居住者の場合）

（出願する年度の前期に別科日本語専修課程等に在籍して日本国内に居住しており、課程終了後、年度後期には日本国外に居住する予定の者も含む）出願時に日本国外に居住する者が、海外より直接当学に出願する方法です。当学は、提出された出願書類に基づき書類選考を行いません。書類選考合格の通知を受け取った者は、来日後に筆記・口頭試問を受けることとなります。

**< 外国学生[国内出願者および国外出願者]の方へ >**

当学国際アドミッションズオフィス窓口とする外国学生の入学試験は、国際アドミッションズオフィスへの出願および書類審査を経てから、当研究科へ出願していただきます。なお、外国学生のうち、国外出願者については受験可能な時期が限定されます。国際アドミッションズオフィスへの出願に関する詳細は、下記までお問い合わせください。

[お問い合わせ先]

早稲田大学国際アドミッションズオフィス TEL: 03-3204-9073、E-mail: adm-iao@list.waseda.jp  
Website [http://www.cie-waseda.jp/admission/menu\\_left/grstudent.html](http://www.cie-waseda.jp/admission/menu_left/grstudent.html)

**< 受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合 >**

身体機能の障害により、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、本研究科事務所（Tel: 03-3208-8560、E-mail: gse-ml@list.waseda.jp）にお問い合わせください。また、大きな病気やけがのため、受験や就学に支障をきたす恐れがある方についても、それが万が一出願後に起こった場合でも、速やかにお知らせください。

## 1. 日程

当研究科においては、2010年度入学試験より9月入学のための入試時期を、第2期募集として新規に設けます。第1期募集は4月入学のための入試時期として位置付けます。

第1期募集：2010年4月入学（国外出願者[外国人学生・外国学生]を除く）

第2期募集：2010年9月入学

第1期募集に限り、外国人学生・外国学生のうち国外出願者の方は出願できませんので、注意してください。

### < 入学希望時期に応じた募集時期 >

入学希望時期	出願者区分	第1期	第2期
2010年4月入学	日本人・国内出願者（外国人学生・外国学生）		×
	国外出願者（外国人学生・外国学生）	×	×
2010年9月入学	日本人・国内出願者（外国人学生・外国学生）	×	
	国外出願者（外国人学生・外国学生）	×	

	第1期募集	第2期募集 (日程詳細：2009年12月更新予定)
事前出願期間 (国際アドミッションズ オフィス)	2009年10月1日～11月20日	2010年1月～2月
修士論文(入試論文) 提出期間	2009年12月21日(月)～2010年1月7日(木) 最終日12時必着	出願前の修士論文審査は行わず、対象者は下記出願期間に論文も併せて提出し、口頭試問時に審査を行いません。
修士論文(入試論文) 審査結果通知	2010年1月下旬	
出願期間	2010年2月9日(火)～2月10日(水) 最終日12時必着	2010年4月下旬 最終日12時必着
検定料振込期間	2010年2月1日(月)～2月10日(水)	2010年4月下旬
出願書類審査結果発表	2010年2月16日(火)	2010年4月下旬
第1次試験(筆記試験)	2010年2月24日(水)	2010年5月下旬
第2次試験(口頭試問)	2010年2月25日(木)	2010年5月下旬
合格者発表日	2010年3月4日(木)	2010年6月上旬
入学手続期間	2010年3月10日(水)～3月11日(木)	2010年6月中旬

外国学生(日本以外の国で16年の学校教育を修了した者)は、早稲田大学国際アドミッションズオフィスへの事前出願が必要です。詳細は以下のWebsiteを参照のこと。

<http://www.waseda.jp/cie/index-j.html>

## 2. 募集人員

専攻名称	コース名称	研究領域名称	研究指導名称	定員
経済学専攻	経済学コース	基礎理論	理論経済学	若干名
			数理経済学	
			経済学史	
		統計・計量分析	計量経済学	
			統計学	
			経済統計	
			数量経済分析	
			金融工学	
			経済史	
		経済史	西洋経済史	
			日本経済史	
			アジア経済史	
		経済政策	経済政策理論	
			産業組織論	
			農業経済学	
			金融論	
			比較政治経済論*	
		公共政策	社会政策	
			社会保障	
			労働経済学	
			公共経済学	
財政学				
環境経済学*				
国際経済	国際経済論			
	開発経済論			
	国際政治経済学			

\* 印がある研究指導は 2010 年度募集停止となります。

## 3. 出願資格

修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の学位を得た者、または 2010 年 3 月（9 月入学者は 2010 年 9 月）までに取得見込の者。

外国において修士もしくは修士（専門職）の学位またはこれに相当する学位を得た者、または 2010 年 3 月（9 月入学者は 2010 年 9 月）までに取得見込みの者

文部科学大臣の指定した者

大学卒業後、大学・研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、当研究科が修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の学位を得た者と同等以上の学力があると認めた者。

上記 ~ に該当しない者で、旧教育制度修了者など、当研究科が修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2010 年 3 月（9 月入学者は 2010 年 9 月）までに 24 歳に達する者

に該当するかどうかについては、当研究科事務所（Tel: 03-3208-8560、E-mail: gse-ml@list.waseda.jp）までお問い合わせください。

(注1) 外国において修士の学位、またはこれに相当する学位を得るまでの教育課程全てを終了した外国学生は、国際アドミッションズオフィスが出願受付窓口となりますので、出願手続等の詳細については国際アドミッションズオフィス(Tel: 03-3204-9073、E-mail: adm-iao@list.waseda.jp)までお問い合わせください。

(注2) **当研究科以外の研究科で修士学位を得た者および修士の学位を取得見込の者は、出願の事前に修士論文(もしくは入試論文)の審査により、出願の可否を事前に通知します(詳細は下記<修士論文(入試論文)の書類審査について>参照)**

## 4. 出願手続

### 出願期間

	第1期募集	第2期募集
出 願 期 間	2010年2月9日(火)~2月10日(水) 最終日 P.M.12:00 必着	2010年4月下旬 最終日 12時必着

修士論文(入試論文)審査対象者(下記参照)には、論文審査を行いません。

対象者は下記要領に従い、第1期募集は出願期間前に、第2期募集は出願期間と同時に修士論文(入試論文)を提出しなければなりません。

### < 修士論文(入試論文)の書類審査について >

#### (1) 対象者：

- ・他大学、当学他研究科および外国の大学において、修士の学位またはこれに相当する学位を得た者。
- ・当研究科修士課程修了者のうち、修士論文ではなく修士課程修了後に執筆した論文による審査評価を希望する者。

#### (2) 提出期間：

	第1期募集	第2期募集
修士論文(入試論文)提出期間	2009年12月21日(月)~2010年1月7日(木) 最終日 P.M.12:00 必着	出願前の修士論文審査は行わず、対象者は上記 出願期間に論文も併せて提出し、口頭試問時に審査を行いません。
修士論文(入試論文)審査結果通知	2010年1月下旬	

#### (3) 提出物：

	対象者	提出物
A	他大学、当学の他の研究科および外国の大学において、修士の学位(またはこれに相当する学位)を得た者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「修士論文の写し3部」</li> <li>・「修士論文指導教員の所見書1部」</li> <li>・「10ページの出願書類一式」</li> </ul> 「修士論文の写し3部」については、必要事項を記入した修士論文表紙[所定用紙]とともに、左上1箇所をホチキス留めの上、提出してください。
B	当研究科の修士課程修了者のうち、課程修了後に執筆した論文(以下「入試論文」という)により、論文審査を希望する者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「入試論文の写し3部」</li> <li>・「(修士論文概要書に代えて)入試論文の概要書3部」</li> <li>・「元指導員またはそれに代わる者による推薦書1部」</li> <li>・「10ページの出願書類一式(修士論文概要書を除く)」</li> </ul>
C	Aの該当者のうち、在籍した修士課程に対する修士論文の提出が必要でない者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「入試論文の写し3部」</li> <li>・「(修士論文概要書に代えて)入試論文の概要書3部」</li> <li>・「元指導員またはそれに代わる者による推薦書1部」</li> <li>・「10ページの出願書類一式(修士論文概要書を除く)」</li> </ul>

入試論文：この論文審査における審査用論文のうち、修士論文以外の論文を「入試論文」という。

具体的には、「当研究科の修士課程修了者」のうち、課程修了以降に執筆した論文を修士論文に代えて提出する論文。もしくは、「他大学・当学の他の研究科および外国の大学において、修士の学位(またはこれに相当する学位)を得た者」のうち、修士課程を修了した(もしくは修了見込の)研究科において、修士論文の執筆が不要だったなどの理由で修士論文が提出できない者に認められる、紀要等に掲載された公刊論文(投稿予定も可)。

**(4) 提出方法：**

**A．郵送提出の場合**

市販の封筒（角型 2 号）に出願書類一式を封入し、所定の宛名ラベルを封筒の宛名面に貼付の上、必ず**[特定記録郵便]**もしくは**[簡易書留郵便]**で送付してください。なお、提出締切日が近い場合は**[特定記録・速達郵便]**もしくは**[簡易書留・速達郵便]**にて送付してください。

**B．事務所提出の場合**

上記の提出期間内に、当研究科事務所へ直接持参してください（なお、受付時間は両日とも 9:30～16:30 のみの受付とします）。最終日は P.M.12:00 に締め切りますのでご注意ください。

**(5) 論文審査結果通知とその後の出願手続：**

<b>第 1 期募集</b>	郵送にて通知します。 出願開始日の 10 日前までに論文審査結果通知が届かない場合、当研究科事務所（Tel:03-3208-8560、E-mail:gse-ml@list.waseda.jp）までお問い合わせください。 入学検定料は論文審査結果通知において出願を許可された場合に限り、納入してください。出願期間に、「入学検定料取扱明細兼受領書」の納入証明書を提出（配達記録郵便もしくは当研究科事務所への持参）することにより出願手続完了となります。なお、出願締切後の提出は受け付けません。
<b>第 2 期募集</b>	審査は口頭試問時に行いません。 入学検定料は所定の期間に納入し、入学志願票に「入学検定料取扱明細兼受領書」の納入証明書を貼付してください。

**出願方法**

**A．郵送提出の場合**

市販の封筒（角型 2 号）に出願書類一式を封入し、所定の宛名ラベルを封筒の宛名面に貼付の上、必ず**[特定記録郵便]**もしくは**[簡易書留郵便]**で送付してください。なお、提出締切日が近い場合は**[特定記録・速達郵便]**もしくは**[簡易書留・速達郵便]**にて送付してください。

**B．事務所提出の場合**

出願期間内に、当研究科事務所へ直接持参してください（なお、受付時間は両日とも 9:30～16:30 のみの受付とします）。最終日は P.M.12:00 に締め切りますのでご注意ください。

なお、第 1 期募集の受付期間は当学入学試験のため、構内立入禁止期間中となっておりますので、郵送のみにて受け付けます。

**入学検定料： 30,000 円**

**A．日本国内から納入する場合**

入学検定料の納入は、出願前に必ず行なってください（出願前の論文審査用論文提出時（第 1 期募集）には納入する必要はありません）。

**入学検定料を納入していない方の出願は受け付けません。** 筆記試験免除申請を行う場合も同上の金額の納入が必要となります。

なお、**以下のいずれかに該当する場合は、入学検定料の納入は不要**です。

**当研究科修士課程修了（2009 年 9 月修了者含む）と同時に当研究科博士後期課程入学を志願する場合**

**当研究科修士課程修了者が、次年度以降に当研究科の科目等履修生となり、その後当研究科博士後期課程入学を志願する場合。ただし、当研究科修士課程入学後 4 年以内に入学を志願する場合に限ります。**

- ・入学検定料は、9 ページ記載の「コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法」に従い、所定のコンビニエンスストア店頭にある情報端末から支払手続を行なってください。支払終了後、「入学検定料取扱明細兼受領書」の収納証明書を切り取って志願票の所定欄に貼付し、出願書類とともに提出してください。
- ・コンビニエンスストアでの入学検定料支払期間は以下の通りです。

	第1期募集	第2期募集
検定料振込期間	2010年2月1日(月)～2月10日(水)	2010年4月下旬

支払は、土・日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。ただし、各期とも納入受付開始日は10時から、納入受付終了日は23時までの利用となります。

- ・コンビニエンスストアでの支払に際しては、家族・知人が代理で手続する場合でも、必ず情報端末に志願者本人の情報を入力するようにしてください。
- ・検定料支払は原則としてコンビニエンスストアでの支払のみを受け付けますが、お住まいの地域に所定のコンビニエンスストアがないなどの理由により支払が困難である場合には、事前に当研究科事務所 (Tel: 03-3208-8560、E-mail: gse-ml@list.waseda.jp) までご連絡ください。

## B . 日本国外から納入する場合 (海外送金による納入)

以下の要領に従い、金融機関より海外送金してください。その際、銀行所定の海外送金申請書のコピーを出願書類とともに同封してください。

### < 海外送金要領 >

送金種類	電信送金 (Telegraphic Transfer)
支払方法	通知払 (Advise and Pay)
円為替手数料	受取人負担 (Payee's Account)
送金額	32,500 円 (検定料 + 円為替手数料 2,500 円) <b>現地金融機関において別途手数料が必要となるため、手数料はこの金額とは別に窓口で手続き時にお支払いください。</b>
送金目的	入学検定料 (Screening Fee)
送金先銀行名	みずほ銀行 (The Mizuho Bank, Ltd.)
支店名	高田馬場支店 (Takatanobaba Branch)
口座番号	普通預金 1886858 (A/C No. 1886858)
受取人	早稲田大学 (Waseda University)
銀行住所	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-26-5 (1-26-5 Takadanobaba Shinjuku-ku Tokyo 1690075, Japan)
スウィフトコード	MHBKJPJ
備考	必要連絡事項 (Message to Payee, if any) には受験者本人の氏名 (Applicant's name) の前に "32GSE" を必ず記入してください。

# 早稲田大学 コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

入学検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「サークルK」「サンクス」「ローソン」「ファミリーマート」で24時間いつでも払い込みが可能です。

## 1 Web申込み

携帯かパソコンで事前申込み  
<http://e-shiharai.net/>  
 携帯サイトの未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。

大学HPからもアクセスできます!

## 2 店頭で払込

画面の指示に従って必要事項を入力し、番号を取得 ※番号名はコンビニによって異なります。

セブン-イレブン	サークルK・サンクス	ローソン	ファミリーマート
【払込票番号 (13ケタ)】	【オンライン決済番号 (11ケタ)】	【お客様番号 (11ケタ)】と【確認番号 (4ケタ)】	【お客様番号 (11ケタ)】と【確認番号 (4ケタ)】

**セブン-イレブンの場合**

●レジにて  
「インターネット支払い」と店員に伝え、プリントアウトした【払込票】を渡すか、【払込票番号】をお伝えください。  
※プリントしなかった場合は、番号をお伝えだけでOKです。

●レジにて  
「オンライン決済」と店員に伝え、【オンライン決済番号】をお伝えください。

**ローソンの場合**

店頭端末 **Leppi**へ

各種代金・料金お支払い  
各種代金お支払い  
マルチペイメントサービス

【お客様番号】、【確認番号】を入力します。

※画面ボタンデザイン等は、予告なく変更される場合があります。

**ファミリーマートの場合**

店頭端末 **Famiポート**へ

代金支払い  
各種代金お支払い  
マルチペイメントサービス

【お客様番号】、【確認番号】を入力します。

●レジにて代金をお支払いください。  
●その際、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

●入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

検定料が3万円未満	473円	全コンビニ共通
検定料が3万円以上	683円	

## 3 取付

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「**収納証明書**」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼る。

●セブン-イレブン  
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。「チケット等払込受領証」は保管。

●サークルK・サンクス  
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。「オンライン決済領収書」は保管。

●ローソン  
●ファミリーマート  
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。「取扱明細書 (お客様控え)」は保管。

切り取った「**収納証明書**」を入学志願票の所定の欄に貼付。

※コンビニでお支払いされた場合、「取込銀行収納印」は不要です。

●支払期限内に代金を支払わなかった場合は、入力情報が自動的にキャンセルされます。  
●入学検定料はATMでは振込できません。必ずレジでお支払いください。  
●「検定料収納証明書」には収納印は押印されません。(コンビニ払込時には収納印は不要です)

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日のシステム対応は23:30まで、「Webサイトでの申込み」は23:00までとなりますので、余裕をもってお支払いください。
- 一度お支払いされた入学検定料は、店頭では一切返金できませんのでご注意ください。

「コンビニでの検定料納入」についてのお問い合わせは  
 ※コンビニ店頭ではお応えできません  
 イーサービスサポートセンター <http://e-shiharai.net/info/>

## 5. 出願書類

### 出願書類一覧

	提出物	備考
A*	入学志願票	[所定用紙] 「入学検定料取扱明細兼受領書」の収納証明書を志願票の所定欄に貼付。
B	各種証明書	卒業（見込）証明書・成績通知書等 詳細は 11 ページ参照
C	修士論文概要書	[所定用紙]
D	研究計画書	[所定用紙]
E	経歴書	[所定用紙]
F	カラー写真	1 枚
G	返信用切手	受験票送付用の切手（350 円分）

\*.. 希望する履修言語に応じて日本語版もしくは英語版を選択し、様式を使用してください。

下記いずれかに該当する者は、以下のスコアカードを提出してください。

**第 1 期募集時の出願者のうち、英語筆記試験の免除を希望する者**

**第 2 期募集時の出願者のうち、外国語試験科目として英語を選択した者全員**

**英語による研究指導を希望する者（外国人学生・外国学生[国内出願者および国外出願者]）**

H	TOEFL スコアカード	過去 3 年以内に発行されたスコアカードのコピー。 ( 詳細は 12 ページ参照 )
---	-----------------	---

### 出願書類作成上の注意

- ・ [所定用紙]フォーマットは当研究科ホームページからダウンロードして入手してください（A4 サイズの用紙に印刷してください）。  
URL <http://www.waseda.jp/seikei/gse/examinee/03.html>
- ・ 出願書類は日本語で作成してください。ただし、外国学生（国内出願者・国外出願者）で英語での研究指導を希望する者は必ず英語で作成してください。その際、入学志願票は英語版を使用してください。
- ・ 出願書類の作成にあたっては、黒のペンまたはボールペンを使用し、文字は楷書、数字は算用数字で記入してください。
- ・ 印のある欄には記入しないでください。
- ・ 改姓のため、証明書等に記載されている氏名が異なる場合は、適宜、戸籍抄本等を添付してください。

### A：入学志願票[所定用紙]

- ・ 「入学志願表記入上の注意および記入コード」を参照の上、記入してください。
- ・ 希望する研究領域とともに、主研究指導教員 1 名および副研究指導教員 1 名（副研究指導教員を第 2 志望まで希望する者は、第 2 志望欄も含む）を志願票に必ず記入してください。
- ・ 入学検定料支払終了後、「入学検定料取扱明細兼受領書」の収納証明書を志願票の所定欄に貼り付けして提出してください（6 ページにある論文審査対象者は、7～9 ページの記載内容に基づいて収納証明書を提出してください）。

## B：各種証明書

当研究科出身者は不要です。

証明書は、和文もしくは英文で作成されたものとし、その他の言語により作成された場合は、和訳もしくは英訳を添付してください（その訳文が正式な翻訳文であるという証明を公的機関により受けてください）。

- a - 1 . 修士課程の成績証明書、またはこれに相当する証明書
- a - 2 . 修士課程の修了（見込）証明書、またはこれに相当する証明書
- a - 3 . 外国において修士の学位、またはこれに相当する学位を得た者は、その証明書および成績証明書

（注意）以下の該当者は、上記に加え、次の証明書も提出してください。

- b . 編入学している者は、前項 a のいずれかと編入学前の学部の成績証明書
- c . 外国において通常の課程による 16 年の学校教育を修了した者は、修了証明書（修了見込の者は修了見込証明書）および成績証明書

## C：修士論文概要書[所定用紙]

日本語による修士論文概要書（A4 横書きで 2000 字程度、ワープロ可）を修士論文概要書表紙[所定用紙]を用いて 3 部提出してください。なお、英語での研究指導希望者については[H]を参照ください。また提出された修士論文は返却しませんので、必ずコピーを提出してください。

当研究科以外で修士の学位を取得した者は、出願前（第 1 期募集）または出願と同時に（第 2 期募集）に論文審査が必要です（詳細は 6 ページ参照）。

## D：研究計画書[所定用紙]

日本語による博士論文の研究計画書 3 部（4,000 字程度 + 参考文献、ワープロ可）を提出してください。ただし、英語での研究指導希望者については「H」を参照してください。

## E：経歴書[所定用紙]

## F：カラー写真

写真は以下の要件を満たしたカラー写真とします。

- ・タテ 4cm × ヨコ 3cm（枠無し）
- ・出願締切前 3 ヶ月以内に撮影
- ・上半身・正面・無帽・無背景
- ・眼鏡の有無・髪型等において間違われるような写真は不可

**合格後の入学手続時に同一の写真が 3 枚必要となりますので、ネガを保存する等してください。**また、提出の際は、写真裏面にボールペンで氏名を記入し、志願票にクリップで留めてください。

## G：返信用切手

受験票を含む文書を送付するために必要となる切手（速達郵便 350 円分）を出願書類送付時に同封してください。

## H : TOEFL スコアカード

**第 1 期募集時の出願者のうち、英語筆記試験の免除を希望する者**

**第 2 期募集時の出願者のうち、外国語試験科目として英語を選択した者全員**

**英語による研究指導を希望する者（外国人学生・外国学生[国内出願者および国外出願者]）**

いずれの希望者も、TOEFL のスコアカード（PBT : 550 点以上、iBT : 79 点以上、CBT:213 点以上のいずれかに該当し、出願締切日より遡って過去 3 年以内に発行されたもの）を提出してください。また、希望者のうち母国語が英語である者の場合、スコアカードの提出は不要です。詳細は当研究科事務所までお問い合わせください。

（第 1 期募集時の出願者）

上記の条件を満たす場合、外国語（英語選択者に限る）の筆記試験は免除され、出願書類審査および口頭試問による受験となります。（英語筆記試験免除が許可された場合、受験票に「英語筆記試験免除」の旨、記載されます。その場合、口頭試問からの受験となります。）

（第 2 期募集時の出願者）

外国語試験科目として英語を選択する場合は必ず上記の条件を満たす必要があります。上記の条件を満たさない場合、出願は受理されません。

（外国人学生・外国学生）

英語での研究指導を希望する外国人学生・外国学生は、上記「C : 修士論文概要書」「D : 研究計画書」は英語版で作成の上、提出してください。

### 受験票を含む文書の送付

出願受付後、出願が受理された志願者に対し、志願票に記載された住所宛に受験票等を送付します。試験実施日の 3 日前になっても受験票が届かない場合は、直ちに当研究科事務所(Tel : 03-3208-8560、E-mail : gse-ml@list.waseda.jp)までお問い合わせください。受験票は、入学後学生証の交付時に必要となりますので、大切に保管してください。

## 6 . 試験

### 試験日および合格者発表日

	第 1 期募集	第 2 期募集
出願書類審査結果発表	2010 年 2 月 16 日（火）	2010 年 4 月下旬
第 1 次試験(筆記試験)	2010 年 2 月 24 日（水）	2010 年 5 月下旬
第 2 次試験(口頭試問)	2010 年 2 月 25 日（木）	2010 年 5 月下旬
合格者発表日	2010 年 3 月 4 日（木）	2010 年 6 月上旬
入学手続期間	2010 年 3 月 10 日（水）～3 月 11 日（木）	2010 年 6 月中旬

第 1 期募集の出願書類審査結果発表は、構内立入禁止期間のため、早稲田キャンパス臨時事務所内および当研究科ホームページ (<http://www.waseda.jp/seikei/gse/>) において行います。臨時事務所の詳細については、2010 年 1 月中旬に当研究科ホームページにてお知らせします。

## 試験科目

	試験内容	
第1期募集	筆記試験（英・仏・独・露のうち、1ヶ国語を選択）	口頭試問
第2期募集	筆記試験（仏・独・露選択者のみ） 英は筆記試験に代えて語学能力証明書により審査。	

2010年度の学生募集を行わない専修については、別紙「研究指導・研究領域一覧表および研究指導の内容（PDFファイル）」をダウンロードの上、確認してください。

貸与する辞書のみ使用を認めます。

解答は日本語によるものとします（特別な指示がある場合を除く）。

## 試験時間割（予定） 詳細は受験票にて確認すること。

試験区分	時限	試験科目	時間	備考
筆記試験	1	外国語（3問）	9:30～11:30（120分）	貸与する辞書のみ使用を認める
	2	外国語（2問）	12:30～14:00（80分）	貸与する辞書のみ使用を認める
口頭試問		別途指示する		

第2期募集の場合、仏・独・露語のみ筆記試験を実施します（英語は筆記試験に代えて、語学能力証明書により審査）。

## 筆記試験会場

早稲田キャンパス（出願受付後、受験票送付時にあわせて通知します。）

## 合格者発表

掲示および当研究科ホームページ（<http://www.waseda.jp/seikei/gse/>）にて行います。電話による可否に関するお問い合わせには応じることができません。

### 【掲示による合格者発表場所】

早稲田キャンパス3号館 中庭 大学院経済学研究科掲示板

最終合格者に対しては入学手続書類一式を志願票に記載された住所宛に郵送します。最終合格者発表日の5日後になっても書類が届かない場合は直ちに当研究科事務所（Tel: 03-3208-8560、E-mail: gse-ml@list.waseda.jp）までお問い合わせください。

## 注意事項

- ・受験生は各科目試験開始20分前には試験教室に入室してください。試験教室には受験票・筆記用具を持参し、受験票は机の上に置いて待機してください。
- ・各時限とも試験開始後20分を経過してからの入室は一切認めません。
- ・解答は日本語で記してください。ただし、英語による研究指導を希望している者は出願書類のみならず、試験解答においても全て英語で記してください。
- ・試験答案用紙はペンまたはボールペン（青または黒）書きとします。修正液は使用できません。
- ・携帯電話等は電源を切ってください。また机の上には置かないでください。
- ・2月上旬より構内立入禁止となります。受験生は、通用門（正門左横）で受験票を提示して入構してください。

- ・口頭試問の日時は受験生ごとに特定の時間を指定します。
- ・一度提出した出願書類および入学検定料は原則として返還できません。ただし、以下のケースに該当する場合には、入学検定料に限り返還いたします。該当する方は当研究科事務所（Tel：03-3208-8560）までご連絡ください。
  - 1）検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかった
  - 2）出願資格を満たさなかった、または、出願締切後に出願書類を提出した
- ・次のことをすると不正行為となることがあります。
  - カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
  - 使用を認められていない用具を使用して問題を解くこと。
  - 「試験開始です。」の指示の前に、問題冊子・解答用紙に触れること（冊子を開く、解答を始める、裏面・余白などに書き込みを行うなど）。
  - 「試験終了です。筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにしてください。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。
  - 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験生を利するような行為をすること。
  - 試験時間中に携帯電話を身に付けること。
  - 試験時間中に携帯電話や時計の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
  - 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
  - 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
  - 志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
  - その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
- ・不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。
  - 監督員が注意をする、または事情を聴くこと。
  - 別室での受験を求めること。
- ・また、不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。
  - それ以降の受験および当該年度における当学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
  - 当該年度における当学の全ての入学試験の結果を無効とすること。
- ・早稲田大学では、入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。あらかじめご了承ください。
  - 受験環境について
    - 可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。
      - 生活騒音（航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行ないません。
      - 試験中に携帯電話や時計などの音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験場外に持ち出し、試験本部で保管することがあります。
      - 机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。
      - 他の受験者が迷惑と感ずる行為がある場合、別室受験を求めることがあります。
    - 不可抗力による事故等について
      - 台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

## 7. 研究領域と研究指導教員選択

### 研究指導教員の選択について

「学生の研究領域の拡大への対応」および「教員と学生との交流」を主眼に研究領域別の募集を行っています。また、入学後の「領域別総合演習（修士論文の研究における進捗状況等の発表の場）による継続的な研究指導」を実施します。

具体的な研究領域については、別途「研究指導・研究領域一覧表および研究指導紹介（博士後期課程用）」をダウンロードの上、「研究領域一覧表」を参照してください。

#### (1) 入学試験出願時から合格者発表の流れ

志願票には以下の項目を記入の上、出願してください。

- ・希望の主研究領域名称（必須）
- ・希望の主研究指導教員 1 名（必須）

この場合、主研究指導教員は自身が所属を希望する主研究領域に属している必要があります。

- ・希望の副研究指導教員 1 名（必須・ただし出願時は第 2 希望まで選択可能）

副研究指導教員は、必ずしも主研究指導教員と同じ研究領域に属している必要はありません。

希望の研究領域、主・副研究指導教員については、選考の結果、変更されることもあります。

主・副研究指導教員各 1 名を決定の上、合否結果を通知します。

副研究指導教員を第 2 希望まで挙げていた場合も、副研究指導教員は 1 名になります。

#### (2) 入学後

毎年度 1 月に主・副研究指導教員の変更希望を受け付けます（変更希望の意思がない場合は手続き不要）。

### 修了要件

課程博士学位を取得しようとする者は、以下の 2 点を満たす必要があります。なお下記に関する詳細および手続きについては、入学後に研究科要項にて確認してください。

研究指導および博士論文審査および試験への合格

通常 3 年以上在学し、指導教員による研究指導を受けた上、博士論文の審査および試験に合格しなければなりません。

## 8. 学費等

< 2010年度4月入学者 学費・諸会費(予定) >

(単位:円)

年度	納入期	学費				諸会費			合計
		入学金	授業料	施設費	演習料	学生健康 増進互助会費	学会 入会金	学会 会費	
初年度	入学時 (10年度前期)	200,000	217,500	30,000	1,500	1,500	2,000	750	453,250
	10年度後期		217,500	30,000	1,500	1,500	-	750	251,250
	計	200,000	435,000	60,000	3,000	3,000	2,000	1,500	704,500
第2年度	11年度前期		219,000	30,000	1,500	1,500	-	750	252,750
	11年度後期		219,000	30,000	1,500	1,500	-	750	252,750
	計		438,000	60,000	3,000	3,000	-	1,500	505,500
第3年度	12年度前期		220,500	30,000	1,500	1,500	-	750	254,250
	12年度後期		220,500	30,000	1,500	1,500	-	750	254,250
	計		441,000	60,000	3,000	3,000	-	1,500	508,500

< 2010年度9月入学者 学費・諸会費(予定) >

(単位:円)

年度	納入期	学費				諸会費			合計
		入学金	授業料	施設費	演習料	学生健康 増進互助会費	学会 入会金	学会 会費	
初年度	入学時 (10年度後期)	200,000	217,500	30,000	1,500	1,500	2,000	750	453,250
	11年度前期		219,000	30,000	1,500	1,500	-	750	252,750
	計	200,000	436,500	60,000	3,000	3,000	2,000	1,500	706,000
第2年度	11年度後期		219,000	30,000	1,500	1,500	-	750	252,750
	12年度前期		220,500	30,000	1,500	1,500	-	750	254,250
	計		439,500	60,000	3,000	3,000	-	1,500	507,000
第3年度	12年度後期		220,500	30,000	1,500	1,500	-	750	254,250
	13年度前期		未定	未定	1,500	1,500	-	750	未定
	計		未定	未定	3,000	3,000	-	1,500	未定

- (注) 1. 正規の課程で当学学部および大学院に入学金を納め在籍した者が入学する場合は入学金免除となります。
2. 当学政治経済学部、政治学研究科、または経済学研究科出身者は学会入会金が免除となります。
3. 学費・諸会費は予告なく改訂されることがありますので、その旨ご了承ください。
4. 一度提出した出願書類および納入した入学金、学費等(入学時)は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合には、学費等(入学時)のみ返還の対象となります。また、複数の研究科から入学を許可された場合、本人からの申し出により、既に納入した入学金、学費等(入学時)を入学希望研究科の費用に振り替えることができます(入学手続期間が全く重ならない研究科間に限られます)。手続方法等、詳細については合格者に送付される「入学手続の手引き」にて参照してください。

### 個人情報の取扱いについて

当学では、志願時に収集した個人情報（氏名・生年月日・住所等）を、入学試験実施・合格者発表・入学手続およびこれに付随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行ないます。

また、上記業務の全部または一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。